

HP Operations Orchestration 10.x

Windows および Linux オペレーティングシステム

00 Base コンテンツパックバージョン1.5.3

リリースノート

ドキュメントリリース日: 2015 年5 月(英語版)
ソフトウェアリリース日: 2015 年5 月(英語版)



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™ は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® およびWindows® は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインタフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

<https://softwaresupport.hp.com>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。 **<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>**

もしくは、「HP ソフトウェアサポート」ページの一番上にある[新規登録]リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。 **<https://softwaresupport.hp.com>**

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは

<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

目次

概要	5
新機能	5
機能拡張	5
コンテンツパックの統合	6
Base コンテンツパックのデプロイ	8
修正された不具合	9
既知の問題	12
制限	16

概要

本ドキュメントでは、HP Operations Orchestration Base コンテンツパック 1.5.3 リリースの概要について説明します。マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報が含まれています。

このリリースでは、次の言語がサポートされます。

- en - 英語
- ja - 日本語

Base Content Pack 1.5.3 は累積的なコンテンツパックです。

新機能

- 「/Library/Utility Operations/」の下に、新しいオペレーション「**Generate Hash**」が追加されました。このオペレーションを使用すると、セキュリティ目的でファイルのハッシュを生成できます。

機能拡張

- 「/Library/Operations/Remote Command Execution/SSH/v2.0/」の下の「**SSH Command**」オペレーションに、新しい出力 **commandTimedOut** が追加されました。この出力は、コマンドのタイムアウトが発生した場合に true に設定されます。また、オペレーションが失敗した場合に、追加情報が提供されます。}
- S/MIME を使用して暗号化された電子メールを送受信する機能が追加されました。
「/Library/Operations/Email/」の下の「**Send Mail**」オペレーションに、入力 **encryptionKeystore**、**encryptionKeyAlias**、および **encryptionKeystorePassword** が追加されました。
- 「/Library/Operations/Email/」の下の「**Get Mail Message**」および「**Get Mail Attachment**」オペレーションに、復号化入力 **decryptionKeystore**、**decryptionKeyAlias**、および **decryptionKeystorePassword** が追加されました。これらの入力には、pkcs12 形式のキーストアパスとその関連データが含まれます。詳細については、当該オペレーションの説明を参照してください。
- **電子メールヘッダーの設定と取得に関する電子メールサポート:** 電子メールへのヘッダーの追加を可能にするため、「**Send Mail**」オペレーションに3つの新しい入力が追加されました。
headers という名前の最初の入力は、1列目がヘッダー名、2列目がヘッダー値という2つの列で構成されるマップ形式です。マップ内の各行は、1つのヘッダーの名前と値のペアです。
2つの区切り文字入力 **rowDelimiter** および **columnDelimiter** は、マップ内の行と列の値を区切るのに使用します。

コンテンツパックの統合

次の表に、Base コンテンツパックがサポートする統合の一覧を示します。

統合名	バージョン
Active Directory	Windows 2000、Windows 2003、Windows 2008、Windows 2008 R2、Windows 2012、Windows 2012 R2
AIX	AIX 5.3
FreeBSD	6.3、7.0
JDBC	
電子メール	POP3、IMAP
Excel	1997、2000、2003、2007、2010
ファイルシステム	
HP HP/UX	B.11.31
JVM	5.0、6.0
MS Cluster	Windows 2003、Windows 2008、Windows 2008 R2
ネットワーク	
Red Hat	ES 3、AS 3、ES 4、AS 4、ES 5、ES 6.2
Perl	
PowerShell	1.0、2.0、3.0、4.0
印刷	
リモートコマンド実行	
Sharepoint	2003、2007
SNMP	1、2、3
Solaris	10
SUSE Linux	openSUSE 10.0、SUSE Enterprise Server 10 SP1、openSUSE 11.0

統合名	バージョン
Windows	2003、XP、2008、2008 R2、2012、2012 R2
WMI	1.x
WS-Management	1.0.0

注: 次の統合には基本的なオペレーションだけが含まれます。高度な機能については、対応する専用コンテンツパックを参照してください。

統合名	専用コンテンツパック
JDBC	Databases
FreeBSD、HP-UX、Red Hat、Linux、Solaris、SUSE Linux、Windows	Operating Systems、Infrastructure Orchestration
電子メール	Business Applications

Base コンテンツパックのデプロイ

00 プラットフォームバージョン 10.00 以降が、Base コンテンツパック 1.5.3 をサポートしています。ただし、Base コンテンツパック 1.5.3 は、既存の 00 プラットフォームバージョン 10.21.0001 またはそれ以降にデプロイすることを推奨します。

コンテンツパックのデプロイの詳細については、『Studio オーサリングガイド』の「コンテンツパックのプロジェクトへのインポート」と『Central ユーザーガイド』の「コンテンツパックのデプロイ」を参照してください。

注: コンテンツパックのアンインストール/ロールバックの方法については、『HP 00 Central ユーザーガイド』の「前回のデプロイメントへのロールバック」を参照してください。

修正された不具合

修正された不具合の参照番号は、ALM グローバル ID 番号 (QCCR) です。

修正された不具合の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C24899	「/Library/Operations/PowerShell/PowerShell Script」が JRAS のアクセス許可を使用する	「/Library/Operations/PowerShell/」の下の「PowerShell Script」オペレーションが、正しく動作するようになりました。 host としてループバックアドレスが指定されており、オペレーションがサービス (RAS など) から実行された場合、指定された username の権限が正しく更新されるようになりました。
QCCR8C26108	「PowerShell Script」の偽装がローカルホストで失敗する	特権を持つユーザーを必要とする PowerShell オペレーションのコマンドレットまたはスクリプトを実行したときに、ワーカーサービスユーザーアカウントが特権を持っていない場合に、偽装が正しく機能するようになりました。
QCCR8C26596	「OO SendEmail」オペレーションで base64 イメージが正しくエンコードされない	base64 イメージを含む HTML を処理するため、「/Library operations /Exchange/Email/」の下の「Send Email」オペレーションに新しい実装が追加されました。
QCCR8C26947	WMI プロトコルの使用時に「Remote Command」オペレーションが余分な改行文字を返す	「/Library/Operations/Remote Command Execution/」の下の「Remote Command」オペレーションで、余分な改行文字が削除されました。
QCCR8C26986	HP00 から SSH コマンドを実行したときに HPSA から「認証失敗」を受信する	この問題を解決するため、 Session timeout パラメーターが導入されました。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C27176	「Date Parser」オペレーションで誤った日付が返される場合がある	「/Library/Operations/Utility Operations/Date and Time/」の下の「Date Parser」オペレーションで、正しい日付が返されるようになりました。
QCCR8C27184	「/Base/Library/Operations/Remote Command Execution/SSH/SSH Shell」を並列実行すると、java.util.ConcurrentModificationException で失敗する	複数のオペレーションを並列に実行する際にリソースに安全にアクセスするため、「/Base/Library/Operations/Remote Command Execution/SSH/」の下の「SSH Shell」オペレーションが更新されました。
QCCR8C27185	Base - 「Invoke Method V2」に headers 入力 と HTTP レスポンスのすべての出力が存在しない	「/Library/Operations/Wizards/Web Service/」の下の「Invoke Method 2」オペレーションに、headers 入力が追加されました。
QCCR8C27359	Base CP - 「InvokeMethodV2」オペレーションで、HTTP 要求に基づいて SOAPAction が設定されない	「InvokeMethodV2」で HTTP 要求に基づいて SOAPAction ヘッダーが設定されるようになりました。
QCCR8C27379	JDBC フォルダーの説明が不完全	JDBC フォルダーの説明が更新されました。
	RAS コマンド cmd_timeout の問題	<p>「/Library/Utility Operations/」の下の「RAS command」オペレーションが正しく動作しませんでした。また、コマンドが完了していても、一定期間後に終了していました。</p> <p>古いコンテンツパック上にデプロイする場合は、次の既知の問題により、RAS レベルキャッシュをクリアする必要があります。</p> <p>"QCCR8C24862 RAS レベルで再キャッシュが行われなかったため、 ras var cache をクリアし、フローが正しく実行されるようにする必要があります"</p>
QCCR8C27526	「Create Zip」で、空のフォルダーを追加	新しい入力を追加することで、

CR 番号	タイトル	説明
	必要があるかどうかを指定するオプションが使用できない	「 Create Zip 」オペレーションで空のフォルダーを追加する必要があるかどうかを指定できるようになりました。
QCCR8C27738	「HTTP Client Delete」オペレーション内で「要求本文」を送信できない	「 HTTP Client Delete 」オペレーション内から要求本文を送信できるようになりました。
QCCR8C27868	ICMP 要求がタイムアウトする場合でも、Base CP で「Local Ping」が正常に終了する	Request timed outが返され、リターンコードが1である場合に、 「/Library/Operations/Network/」 の下の「 Local Ping 」オペレーションが失敗して終了するようになりました。

既知の問題

既知の問題の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

「Remote Linux Script File Runner」オペレーションに構成可能なタイムアウトが存在しない

次の入力を持つ「/Library/Operations/Operating System/」の下のオペレーション「Remote Linux Script File Runner」を使用してスクリプトを実行する場合に問題が発生します。

- targetHost
- targetHostUserName
- targetHostPassword
- scriptFile

オペレーションはタイムアウトし、正常に終了しません。

/Operating Systems [1.2.0-SNAPSHOT]/Library/Accelerator Packs/Operating Systems/SUSE Linux/Information Gathering/Memory Metrics

「/Operating Systems [1.2.0-SNAPSHOT]/Library/Accelerator Packs/Operating Systems/SUSE Linux/Information Gathering/」の下の「Memory Metrics」フローが、「Remote Command (Base)」サブステップで、`top -b -n1` コマンドの実行中に失敗します。

JBDC 統合に必要な MySQL JDBC コネクタがサードパーティで除外されている

JBDC 統合に必要な MySQL JDBC コネクタがサードパーティで除外されているため、クライアントで追加する必要があります。この存在しない依存関係を追加する標準の方法は、`third-party-cp.jar` をアーティファクトとともにデプロイすることです。しかし、00 10.02 では、依存関係がプラグインの POM で宣言されていないと、これは効果がありません。

ただし、JBDC オペレーションはこの依存関係なしでも動作する必要があるため (他のデータベースのために)、この依存関係は宣言できません。

Netcool DB に対して SQL クエリを使用する場合、データベースの指定が強制されるべきではない

「/Library/Operations/Databases/JDBC/SQL Query」の下の「SQL Query」オペレーションを使用するには、データベース名の入力が必要です。値を指定すると、オペレーションは正常に完了しますが、Netcool ログにエラーが書き込まれます。

Netcool データベースに対する SQL オペレーションでセミコロンが使用できない

「Operations/Databases/Microsoft SQL」の下の「SQL query」オペレーションは、いずれかのフィールドのデータにセミコロンが含まれていない限り、Netcool データベースに対して正しく動作します。オペレーションの区切り文字がパイプ文字にカスタマイズされた場合、結果は NULL のままです。同じオペレーションが、セミコロンを含まないデータを返す場合は正しく動作します。

「Change Service Status」の requestedstatus フィールドで入力が一時的に停止するとオペレーションが失敗する

「Operations/Operating Systems/Windows/Services」の下の「Change Service Status」オペレーションは、requestedstatus フィールドの入力に値 'paused' があると失敗します。

サンプルフロー「Move Emails」がオブジェクトを正しくないメールボックスに配置する

「Operations/Exchange/Exchange 2010/Samples/Emails」の下の OOTB フロー「Move Emails」は、選択したアカウントがメールボックス所有者に属していない場合、選択したメールボックスのオブジェクトを移動できません。

Date Parser が大きなミリ秒値を正しく変換しない

「/Library/Utility Operations/Date and Time/」の下の「Date Parser」オペレーションは、2³² 以上の入力値を正しく変換しません。このため、出力日付の範囲が 12/7/1969 ~ 1/25/1970 に制限されます。

「Operating System Detector」で、ReturnResult の末尾に印刷不可能な文字が残される

「Operating System Detector」オペレーションによって ReturnResult の末尾に印刷不可能な文字が残されます。返された値を一致の種類 RegEx とパターン ".*" で「String Comparator」オペレーションに渡そうとすると、不一致エラーが発生します。

「/Library/Operations/File System/Windows Only/Excel/Get Cell」オペレーションを OLE オブジェクトを含む Excel ファイルに対して使用すると、失敗に終わる

「/Library/Operations/File System/Windows Only/Excel/」の下の「Get Cell」オペレーションを使用して Excel シートを読み取るフローを実行する場合、Excel ファイルに OLE オブジェクト (チェックボックスなど) が含まれていると、オペレーションは失敗し、エラーメッセージが表示されます。

SFTP オペレーションが非パスワード認証に対して動作しない

SFTP オペレーションは非パスワード認証に対して動作しません。

パスフレーズレスキーを使用してリモートホストに認証しようとする、パスワード入力が空であるという理由で失敗します。

「Offset Time by」オペレーションが解析不能の日付のために失敗する

オペレーション「/Library/Utility Operations/Date and Time/Offset Time by」が解析不能の日付のためにエラーを発生します。

次の入力を空白に設定すると、オペレーションは正しく動作します。

localeLang =

localeCountry =

RAS が日本語版の Windows 2008、VISTA、または Windows 7 上で設定されている場合、Local Ping は正しく動作しません。

日本語 Windows 2008、VISTA、または Windows 7 オペレーティングシステムで RAS が定義されてい

る場合、ローカル ping オペレーションは正しく動作しません。

回避策:

この問題は、コードを次のように編集することで修正できます。

「**Local Ping**」オペレーションによって作成される一時 bat ファイルの先頭に、chcp 437 を追加します。

chcp.com 437 によってコードページが OEM United States に設定されるため、ping コマンドの出力がローカライズされなくなります。

「/Base [1.4.0-SNAPSHOT]/Library/Operations/Operating Systems/Cross Platform/Command Line」オペレーションに説明がない

「/Library/Operations/Operating Systems/Cross Platform/」の下の「**Command Line**」オペレーションに説明がありません。

SQL Server のバイナリデータが 00 でバイナリとして返されない

SQL Server データベースでタイプが **binary(16)** の列のクエリを 00 から実行した場合、結果がデータベースの内容と一致しません。

IPv6 の制限

[IPv6][WMI] - 「Java」フォルダーの「WMI」オペレーションを IPv6 アドレスを使用して実行できない

「Java」フォルダーの「WMI」オペレーションを実行すると、IPv6 アドレスを使用している場合に失敗します。これはサードパーティの問題 (j-Interop) によるものです。

同じオペレーションを IPv4 アドレスで実行すると成功します。

次の Base コンテンツパックフローは「**Operations/WMI/Java**」に依存するため、IPv6 では動作しません。

- 「/Operations/Operating Systems/Windows/Processes」の下の「**Get Processes By Name**」
- 「/Operations/Operating Systems/Windows/Processes」の下の「**Get Process PID**」
- 「/Operations/Operating Systems/Windows/Processes」の下の「**Get Windows Processes**」
- 「/Operations/Operating Systems/Windows/Processes」の下の「**Get Process Counters**」
- 「/Operations/Operating Systems/Windows/Processes」の下の「**Get Task List**」
- 「/Operations/Operating Systems/Windows/Samples/」の下の「**WMI Query**」

「/Operations/Remote File Transfer/WebDAV」の下の「**WebDAV**」オペレーションは、サードパーティの問題 (Jakarta Slide、Commons HttpClient) により IPv6 では動作しません。

「/Operations/Powershell/Network」の「**Configure Network Adapter**」オペレーションは、Windows Server 2012/Windows 8 より前の Windows バージョンでは IPv6 インタフェースを設定できません。

「/Operations/Operating Systems」の下の「**HP-UX**」オペレーティングシステムは、IPv6 では検証されていません。

「/Operations/Operating Systems」の下の「**AIX**」オペレーティングシステムは、IPv6 では検証されていません。

「/Operations/Remote Command Execution」の下の「**Remote Command**」オペレーションの ROSH (Remote Opsware Shell) および GlobalShell (Opsware Global Shell) プロトコルは IPv6 では検証されていません。これらのプロトコルは HP Server Automation の製品と統合されており、これらの製品はまだ IPv6 で検証されていません。

「/Operations/Remote Command Execution/Remote Command」の **rexec** プロトコルは、rexec サーバー (rexecd デーモン) が IPv6 接続をサポートしないため、IPv6 をサポートしません。

非推奨のオペレーションは IPv6 では検証されていません。

制限

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C24078	「Create Local Group」フローで英数字以外の文字を使用すると、フローは成功するが、例外が発生してアカウントは作成されない。	「Library/Operations/PowerShell/Utility」の下の「 Create Local Group 」フローが、英数字以外の文字が使用されていても正常に完了するようになりました。

